



5月 歩路だより



開級式から1ヶ月がたとうとしています。子どもたちは、一日の流れを少しずつ理解し、落ち着いて過ごす場面も見られます。だいぶ暖かくなってきましたが、気温差により体調を崩すお子さんもいます。まずは、規則正しい生活習慣を身につけて、元気に登園できるようにご家庭でもご協力をよろしくお願いします。

5がつのよてい

げつ	か	すい	もく	きん
2 せいさく	3 けんぼうきねんび	4 みどりのひ	5 こどものひ	6 ひなんくんれん
9 おんがくあそび	10 うんどうあそび	11 かだいあそび	12 おえかき	13 せいかつあそび
16 おえかき	17 たんじょうびかい	18 うんどうあそび	19 おんがくあそび	20 ごうどうほごしゃかい
23 うんどうあそび	24 しょくいく	25 おんがくあそび	26 せいかつあそび	27 かだいあそび
30 かんしょくあそび	31 えんがいりよういく			

※活動内容は、諸事情により変更になる場合がございますので、予めご了承ください。

※行事食については、後日文書でお伝えします。

《臨床発達心理士》松本先生：5月2日、6日、10日、11日、12日、16日、19日、20日、23日、24日、
26日、30日、31日

《言語聴覚士(ST)》二宮先生：6日、9日、17日、25日

《理学療法士(PT)》福山先生：10日、18日、23日

○お知らせ○

- ・5月は「第一回合同保護者会」、「園外療育」の実施を計画しております。それぞれ後日案内の文書を発送いたしますので、ご確認よろしくお願いいたします。
- ・活動中の写真提供については、保護者の皆様それぞれのご意向があり、他の子どもさんの写真に写っている場合など、公開して欲しくないとのこと希望もありました。原則として、療育・活動中の写真提供は行わないこととさせていただきますので、どうぞご理解いただきますようお願いいたします。

職員通信 今月の担当は、児童統括主任 福富 明です。

いよいよ平成 28 年度が始まりました。

昨年度は皆様のご協力を頂きながら懸命に療育支援に努めましたが、まだまだ不足不備なところが数多くありました。ご利用の皆様には、何かとご迷惑をおかけしてしまったことを省みております。

今年度は、臨床発達心理士・言語聴覚士に理学療法士の専門分野との連携を更に充実させ、より精度の高い療育体制を築けるように取り組んでまいります。今後もどうぞ遠慮なく、ご意見・ご要望をお寄せください。支援スタッフ一同、子どもたちの将来に向けて精一杯の療育支援を行ってまいります。どうぞよろしくお願い申し上げます。



平成 27 年度 閉級式

平成 28 年度 開級式



3 月はさみしいお別れもありましたが、4 月には新しい出会いもあり今年度もスタートしました。今年度もお子さまの成長を支えていけるように職員一同頑張りますので、1 年間よろしくお願いいたします!!

専門職通信 今回の担当は、臨床発達心理士 松本みどりです。



みなさんに質問。日常生活の些細なことも含め、今まで生きてきて、思うようにいかなかったことできなかったことが一度もない方、いらっしゃるでしょうか？

人生全てが意のままに、我慢なんて一切せずに済めば、それは幸せなことかもしれません。が、そうでないのが現実。多少の思うようにいかないことに対しては、多くの人が折り合いをつけながら、生きています。

常識・マナーとして周知されていること、ルールとして決められていることなどは、個々人として不本意なことがあっても、応じることが原則として求められます。そう、世の中には、自分には決定権がないし、いつそう決まったのかもわからないけれど、四の五の言ったところで結局は従わなくてはならないことが、無数にありますよね。

さて、自分の気持ちを解き放ってめいっぱい自己主張できたり、選択肢は限られているけれど自己決定できたりする場というのが、子どもたちの伸びやかな成長のためには絶対必要だと思います。同時に、酷なようですが「思い通りにならないこともある」「自分で決められないこともある」といった、“決定権のない状況”を学び知ること、大事だと思うのです、社会で生きる人間であれば。

「今日はお菓子は買わないよ」「お外では手をつないで歩こうね」「お出かけする前にはトイレに行くんだよ」といったことは、ある意味、お子さんが初めてぶつかる、決定権のない状況でしょう。言われてすぐ「はい喜んで!」とばかりにいいお返事で聞いてくれるお子さんは、少数派。「お店に行くなうやつ買って!!」「自由にさせてよ!!」「トイレなんてどうでもいい、早く出かけようよ!!」という思いが強く、抵抗を示してアピールをするお子さんの方が多いと、断言いたします。

さあここが、お母さんお父さんおじいちゃんおばあちゃんに踏ん張って欲しいところ。

イライラカッかするときほど、意識して声のトーンを低く低く落とし、ゆっくりだけときっぱりと、そして最大限努力して、できるだけ穏やかにお話ししましょう。ことば数は少なめに。必要最小限のことを毅然と伝え続ける方が、お子さんとしても「聞かなくっちゃ、やらなくっちゃ」とわかる場合が多いような気がします。

応じることができたそのときは思いっきりほめてあげましょう。かわいいお子さんたちが“社会”人としての第一歩を踏み出した頼もしい成長の瞬間だと、思います。みなさんのことを、いつもいつも応援しています。